

9月定例会議会特集

根室市議会9月定例会議会が12日（火）に開会しました。今週の市議団ニュースでは、鈴木一彦議員と橋本竜一議員の一般質問の主な内容についてご紹介します。

鈴木議員の一般質問



「汚染水」（アルプス処理水）の海洋放出による当市の産業・経済への影響と対策について

鈴木議員は、政府と東電が汚染水（アルプス処理水）の海洋放出を強行したことを批判するとともに、中国による日本産海産物の全面禁輸が当市の産業・経済に少なからず影響を及ぼすと指摘。影響と対策について、市長の見解を求めました。石垣市長は、国が水産業を守る政策として、風評被害対策など5本柱に

総額1007億円の緊急支援策を発表したことを紹介するとともに、市としても国・道の支援策との連動性を含めた根室水産物の消費拡大・流通促進の取り組み強化をはじめ、生産機器の導入支援など、市独自の支援策の検討を進めていると答えました。

また、道産ホタテの国内消費拡大に向けて、ふるさと納税の共通返礼品制度を活用した国民運動の展開について知事に政策提言を行ったことについても答弁の中で触れました。

「酷暑」対策について
学校にエアコン等の設置を！

今年の根室の夏は、酷暑と呼ぶべき猛烈な暑さが続きました。鈴木議員は、この暑さが来年以降も続くものとして対策を立てるべきだと指摘。児童生徒

の命と健康を守るための環境整備として、市内の各学校にエアコン等を設置するべきだと述べ、教育長の見解を求めました。

波岸教育長は、学校は児童生徒が一日の大半を過ごす場であることから、熱中症の予防はもとより安全・安心で快適な教育環境の整備は重要と答弁。また、今年は全道各地で熱中症により緊急搬送される児童生徒が増加したことから、道教委をはじめ、北海都市長会や北海道都市教育委員会連絡協議会等も、国に対して冷房設備の整備について緊急要請を行ったことを紹介したうえで、市教委としてこうした緊急要望に係る今後の国や道、道教委の動向を注視しつつ、必要な対策について検討を進めると答えました。

鈴木議員は、財政的な課題はあるが、児童生徒を守るが一番大切と指摘。まずは優先的に保健室にエアコン等を設置することを求めました。

橋本議員の一般質問



物価高騰における市の対策について

橋本議員は、現在のエネルギーや食料品等の物価高騰について、終息の見通しが立たないと指摘。現在の「根室市エネルギー・食料品等価格高騰重点支援展開計画」が来年3月まで（本年度末まで）となっているが、次年度以降も市として継続的な支援が可能なのか、特に財源確保の面も含め、その見通しについて質問しました。

石垣市長は、施策の展開方針として、日々変化する物価や市中経済の動向を踏まえ、必要な見直しや支援策の拡充を図りながら、機動的に対応していくと述べたうえで、

これまで物価高騰等に直面している生活者や事業者支援を、国の地方創生臨時交付金等も活用しながら市民生活への影響緩和に向けて支援を実施してきたが、同時に出口を見ていくことも重要であり、来年3月までの期間としたと説明。支援実施にあたっての財源確保等については、国の動向も注視してしっかりと対応していくと答えました。

福祉灯油の拡充を！

根室市の福祉灯油の対象世帯は「75歳以上の方が一人以上いる世帯」となっています。別海町や標津町などでは65歳以上を対象にしていることから、橋本議員は、灯油価格が高騰している状況から、対象者の拡充を求めました。

市長は、これまでも支給金額の増額などを行ってきたが、今後においても灯油価格の動向を注視しながら、市民生活の安定に向け制度の拡充に努めていきたいと答えるにとどまりました。